

“面白おかしく 私らしく ”

<品質永久名人になりました> AP事業部 AP3G 橋本 幸佑 さん

入団 13 年目、RHで組立・設計 3 年半、APに異動し現在は 5 軸マシンングセンタのオペレータをしています。先シーズン、「品質永久名人」に新加入しました。名人には目標にしている人がおり、大変光栄で嬉しいです。

品質永久名人になれたのは、作業やルールなどには“そうすべき理由が何かある”と考え、それを確認し、理解して取り組んできたからだと思います。例えば、「これをしておくことで、こうなるから行う」「これをしなかったら、こうなるから行う」というものです。と、言っていますが、8 年



ほど前に、今のチームに異動してすぐのころ、製品を落とし、変形してキズだらけにしまいました。その頃は、どちらかという生産数を気にしすぎ、全くなっていませんでした。大変迷惑をかけ、自身と品質を見つめ直すきっかけとなった衝撃的な事でした。その製品は今も流れていますし、今でも落とした光景を鮮明に覚えています。

小グループの新人教育(一人)もしていますが、私も教わった“物事の理由”を理解してもらっています。そして、少しずつチャレンジできるように考えて、難易度を上げています。任せる基準は、その人のやる気というか、基本的には「やりたい」と言えばやらせます。自信がなければ、やらせません。新人の失敗は、自分の失敗であることを肝に銘じ、自主性を尊重して、話し合いながら進めています。新人には、分からない時にすぐ「どうしたら良いですか?」と聞くのではなく、“自分の意見を考えてください”と教えおり、私はその意見にのみ答えるようにしています。

目の前の目標としては、今、A社の製品に携わっており、先ずは、問題なく終わらせる事です。そして、教えている新人が、一人前になる(する)事です。

<取説作成で支えています> RH事業部 RA5G 浅野 めぐみ さん

入団 23 年目、RH1.5 年、CF品管 5.5 年(産休含む)の後、再びRH設計グループとなり、アタッチメントの取扱説明書などのユーザーズガイドを作成しています。取説は、図と文章で操作方法・注意点などが書いてありますが、“安全”に関しては、特に気を配っています。安全とは、お客様にケガをさせない事です。



ラクラクハンドは一品一様で、完成したら組立担当者の操作を観察し、自分でも操作して危ない箇所があれば「ここ危ないですよ」と確認していきます。操作に慣れていないお客様目線でも見て、注意喚起シールを貼り、誰にでも分かるようにします。また、様々な場面を想定し、いわゆる“意地悪テスト”(通常作業ではちょっと考えられない動作テスト)もしますが、いくらキチンと設計してあっても落とす可能性はあります。よって、「この様に扱うと落ちます」という動画を撮影し、製造・営業と共有して、お客様にも見てもらいます。“不注意・無茶な操作で落ちる事例”も安全に使ってもらうには大変重要な情報です。

取説担当になり、普段テレビを見ていても画面下の短い文章で端的に表しているテロップが気になるようになりました。また、家電の取説もしっかり見るようになりましたが、家電は文章が長くて分かりづらいというのが私の感想で、短い文章と的確な図で分かりやすくすることを意識しています。

これからもお客様の安全を第一に考えた取説を作成し、取説という側面からラクラクハンドを支えていきたいです。